

意識を喚起し



進んで行動を

私達の使命は…

…私達のクラブ

…地域社会

そしてあまねく広く世界において

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——吉田 昭 平
会 長——斎藤 弘 文
会長エレクト——五十嵐 昭 一
副 会 長——松 谷 昊 吉 彦
幹 事——丸 山 行 彦
副 幹 事——清 水 良 一
S A A——荻根沢 隆 雄
副 S A A——中 村 和 彦

例 会 日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店
例 会 場——TEL 35-3311
事 務 局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	71名中 53名
先々週出席率	86.76%

ゲ ス ト

三条市長 高橋一夫様

先週のメイクアップ

- 1/18 燕へ
加藤紋次郎さん、渡辺勝利さん、
渡辺喜彦さん
- 1/19 吉田へ
渡辺喜彦さん
- 1/19 東京城北へ
林 光輝さん
- 1/22 三条南へ
五十嵐昭一さん
- 1/23 田上あじさいへ
渡辺喜彦さん



1/23 三条北へ

菊池 渉さん、熊倉昌平さん、渋谷健一さん、
渡辺喜彦さん、加藤紋次郎さん、清水良一さん、
五十嵐総一さん、松谷昊吉さん

会 長 挨拶

斎藤弘文会長

高橋市長さん、ようこそ、お忙しいところお出
戴きました。心より歓迎致します。

是非、何期も続けて名市長と言われるまで頑張っ
ていただきたいと思ひます。

この一月の成人式の模様がテレビでいろんな各
地の状況が映し出されている訳ですけれども、皆
さん、あの画面を眉をしかめて大変なことだなど
という思いにかられたのは、私だけではないと思ひ
ます。そして一様に、今の若者は……という形の

中で、あたかも若者が悪いんだというような報道が先行しまして、ひどい話になりますと“もう、成人式なんか止めてしまえ”と、そのようなコメントまでが出ているような状況でございます。大変寂しく思った訳でございます。冗談ではなくして、もし成人式を止めてしまいますと、貸衣裳屋さんですとか、パーマ屋さんですとか、写真屋さん、いろんなところで、景気がマイナスの要素が一杯ある訳でございます。というものも、若者の気持も考えず、大人が勝手に自分の思い通りのかたちの中で式を準備してきたような気がしてならないのであります。紋切型のもので、若者の心を捕らえずにやってきた結果であると同時に、あの若者を育てたのは誰であるかという大人の責任を一切考えないような結論の話が“成人式なんか、止めてしまえ”“今の若者なんか問題にならん”という話じゃないかなという、そんな気がしています。知事があんな怒り声を出したりですね、あの姿を見ておられますと、今将に、若者の責任ではなくて、我々大人の責任をテレビに映し出されているのではないかとそんな気がしておる訳でございます。

それに引き替え、三条の市長さんというのは、私は新聞でしか読んでいない訳ですけども、昨年の成人式の時に、森田公一とトップギャランが歌って大変ヒットしました「青春時代」という歌を、ノッケから歌いまして、その式場に集った青年の心をキチット掴んだが由に大変整然とした立派な成人式で終わったということをおは三条新聞で読ませて戴いておるんですけども、やっぱりトップがしっかりとした考え方、そんなかたちの中で若者が何を欲しがっているか弁えておれば、あんな様の悪い成人式はないのではないかと。

やはり、大人の責任、子供は大人によって育てられて20歳までなったのでありますし、もうちょっと教育に携わる人達は真剣に考えていく必要があるんじゃないかとそんな感じがしております。

私は教育委員の人達にそんな話をしました。

是非、教育長を初め教育委員の人、それから学校の先生と学校関係者の人達に、あのテレビの画面を見て、どう感じたか。そのコメントを是非、アンケートして下さい。そういうお願いをしております。来るかどうか解りませんが、もし、そのアンケートが集まりましたら、また皆さんに公表したいと思っておりますので宜しくお願いしたいと思います。

幹事報告

◎らいふすていしょんより

お礼状がとどいております。

◎例会変更のお知らせ!

三条北RC—2月20日(火) 夜例会
於三条ロイヤルホテル

燕RC——2月22日(木) 夜例会

加茂RC——2月22日(木) 移動例会

ニコニコBOX



高橋一夫市長さん

三条ロータリークラブの皆様、新年お目出とう御座います。今年も一生懸命がんばりますので、よろしくお願いたします。

斎藤弘文さん

高橋三条市長さんを心より歓迎申し上げます。昨夜(協)三条工業会の新年会を盛大に開催する事が出来ました。

13日に初孫の顔を見に九州まで行って参りました。本当にかわいいものです。

小林英雄さん

今年もどうぞよろしく。
相場亮嗣さんの入会を歓迎申し上げます。

山浦日出夫さん

明けましておめでとうございます。今年は良い年になりますように。

渋谷健一さん

初めてのひこ孫が出来ました。

吉井俊介さん

佐藤浩一さんの入会を祝して。ヘラ鮎釣りの仲間です。佐藤さんはその道の名人です。

荻根沢隆雄さん

雪で屋根をつぶしてしまいました。油断しない様に、でも車で良かったです。

五十嵐総一さん

新年早々の火事がたまたま当自宅のトナリとは……。クラブから又会員の方々からご心配頂きまして、ありがとうございました。無事難をのがれました。

古沢富雄さん

母の葬儀に際しまして、クラブよりご香資を賜わり、多くの会員の皆様のご会葬をいただきました。ありがとうございました。

外山雅也さん

都合により早退させていただきます。

丸山さん、佐藤(武)さん、会田さん、石塚さん、杉山さん、平原さん、高森さん、広岡さん、石橋さん、捧さん、五十嵐(寿)さん、菊池さん、小越さん、山田さん、佐野さん、五十嵐(力)さん、渡辺(勝)さん、岩井さん、小出さん、小林(敬)さん、松谷さん

高橋三条市長様を歓迎し、卓話楽しみにしております。

1月24日分 ￥62,000

今年度累計 ￥715,600

卓話



三条市長 高橋一夫様

皆様、明けましてお目出度うございます。本年も宜しくお願い申し上げます。一年振り、三条ロータリークラブに寄せて戴きました。よく中学校とか小学校の同級会では集まってワイワイ話し合っているうちに、今の年令や地位、職業を忘れて中学生、小学生の昔になってしまいますが、私もここにきて一時間ばかり食事を共にしている間に、市長を忘れて三条クラブのロータリアンになったような気がしています。

また、このロータリーの歌を聞きますと、いつも渡惣さんを思い出します。今はしていませんが、私は犬を連れて毎朝、五十嵐川周辺を散歩しました。渡惣さんも、時々奥さんと犬を連れて散歩しておられました。擦れ違ふ時は声を掛けられますし、川をはさんだ時は手を振っておられて、この歌にそっくりなんですよ。だから私はこの歌を聞いたり、歌う時には渡惣さんがイメージされるんです。

皆さんから、今年も賀状を沢山戴きました。本当に有難うございました。しかしですね、市長である限りは私が年賀状を出すですと、公職選挙法に違反することになるということで……市長を続けている間はご理解戴きたいと思っております。(笑)

今年の新年の市役所での挨拶でこんな話をしました。三条新聞にも出ておりましたから読まれた方もおありでしょうが、三条で今難問が沢山あり

ます。それらを考えてみますと、一つはですね。やらなければならないことを先送りしてきたものがあります。このこと一番大きな問題は土地が決まらない。その為に先送りをせざるを得なかったことが挙げられます。それから、もう一つはその問題に、どういう形で取組んでいくかによって、或いはどういう形に構想するかによって、三条の5年後、10年後は非常に大きな違いが生じてくる様な気がしています。

その一つは合併の問題です。もう一つにはITすなわち、情報化に対して、どんな形で対応していくのかという問題の二つがあると思います。

今年は皆様と一緒に、初心に戻って三条の町のこれからのために合併と情報化に一生懸命に取り組んでいきたいという話をします。

燕三条青年会議所の方々が直接請求をされた、三条は燕と。燕は三条と合併協議会を作って欲しいということは当然、議会で通るという前提で、そんな話をしておったところがノッケから、この合併問題は出鼻をくじかれた形になりました。

しかし、私は新聞のインタビューでも話をしましたが、「だから、もう駄目なんだ」ということではなく、これからはまだもう一波乱も二波乱もあるだろうけれども、三条の将来を考えると、どうしても合併というのは積極的にやっていかなければならない問題だと考えておりますと話しましたし、今もその気持でいます。

……と言いますのは、合併特例法というのがありまして、これは平成17年の3月になると無くなってしまふ時限立法です。これにはいろいろな恩典があるんです。

一つは、三条と燕が一緒になった場合に、三条には都市計画税というのがありますが、……この近くの地域で都市計画税をとっているところはありませんが……燕にはありません。ということは、例えば燕市が三条市と一緒にした場合には、燕が都市計画税を取られることになれば、燕にとって増税になる訳です。そのような障害になるようなものは、5年間は国が面倒をみますよ、とか。或いはいくつかの市町村が一緒になる時に、一つの市が非常に大きな負債があり、その負債が合併の障害になる場合には、それを国が面倒みてやりましょう、とか。いろいろな恩典があります。

他にも、最近三条新聞さんの紙上にもありましたが、共産党さんが地方交付金のことで、三条と燕が一緒になると上越と同じくらいになりますよ。と……つまり、今のままだと交付金合計は約10億円多い。合併すれば、ほぼ同じ規模で上越と同じように10億円が減るんだよという話ですが……。逆の言い方をすれば、一緒になることに依って、基

本の財政需要が低く抑えられる。低く抑えられるから、交付金が少なくて済む。いわゆる効率が良くなる訳です。共産党さんとか、反対される人はそういう形で交付金が少なくなる。国は交付金を少なくすることによって、今の財政難を乗り越えようとしているんだ。今の財政難というのは地方が作ったのではなくて、国の政策が間違っただけだから、自治体はその為合併をして、効率を上げて、それを返す必要はないんだ、という議論を盛んにやっておられる。これは合併に消極的な論者や共産党の方々に多いんです。

しかし、私達が民主的な形で仕事をしたり、政治をしている中で私達が選んだ政府がずっとやってきた訳ですから、よしんば政府の政策の間違いであったとしても、だから俺達には関係ないんだという訳にはいかない。皆んなで、どうやって返済すれば良いのかを考えなければならないと思います。そうすると先程の例のように上越市との比較ですが、三条と燕が別々の場合、上越より10億円くらい交付金を余計にもらっているんですが、一緒になると上越と同じくらいの形になる。交付金というのはいろんなファクターが入っていますから、簡単に人口だけという訳にはいかないのですが、簡単に言えば国が地方に出す金が10億円くらい少なくて済む。これは三条、燕だけではなくて、近くの市町村が入ればもっと節約出来る訳です。

因みに、ご承知のように国だけの借金が400兆円ですが、400兆円の利子というのが一日の利息だけで300億円かかっているんです。300億円と言うのは丁度三条市の一般会計の一年の予算に該当します。それが今、地方と国を合わせると借金が666兆円ということですから、5割アップくらいになる訳で、非常に大きな借金を抱えて国が運営されている訳ですから、それをそのままにしてという訳にも恐らくいかないと思います。

私が計算した訳ではありませんが、……（そういうことはないと思いますが）……これから日本の国が昔の様に毎年5%づつ経済成長しても返せないとか。消費税を15%に引き上げても無理だとか。一方で言われています。そうしますと、どうしても地方自治体が合併しながらやっていかなければいけないと思います。

今日の越後ジャーナルにも燕の県央の橋が出来たけれども云々ということが書いてありましたが、このことも議会で共産党の西川議員の質問に答えました。現在、予算編成をしています。この予算がなかなか難しい。これからも帰ると査定をしなければいけないんですが、12年度に比べて予算規模が大分小さくなっています。そんな中でどこ

をどういうふうにしてゆくべきか、整合性をとりながら予算を組んでいくのが難しいのですが——下水とか道路などは以前からみれば大分縮小されているんですが——例えば、燕が県央大橋を作りました。三条という行政の枠組からいくと、どこに道路を作ったらいいか。どこをどうしたらいいという優先順位がある訳です。ところが三条・燕という形で、大きな枠組みで見るとまた優先順位が変わってくる訳です。県央大橋が出来たんだから、自ずからこういう道路を作った方が、三条・燕、或いは県央という形から見れば優先順位はこっちだろうということになります。つまり行政を単体で小さく見た場合の優先順位とは変わってくる訳です。

そうすると非常に限られた予算の中で、区長さんや議員さんからいろいろな要求が出ると、いきおいそちらばかりを先にやってしまうということになるんですが、これが大きく一つになれば全体の中で、ここに橋が出来たのだから、そこに予算を付けられるといいますが、付けていかなければいけないことになります。今、私たちが燕と三条の境界だとか、或いは下田との境界だとか全く意識しないで学校に行ったり、買物に行ったり、毎日の仕事に行ったりしている中で、今までの枠組があると行政はその枠の中で仕事をしていかなければならないということになっている訳であります。そういう面からしても、一緒になって大きな枠組でやっていくべきだと思います。

今、問題になっている中越の屎尿処理の問題も全体が一つになれば、自ずからスムーズにゆくんです。

ところが、三条・燕・栄町・下田と別々ですと、自分のところが有利なようにというエゴが出てしまって、なかなか進めるのが難しい。一部事務組合という形で、合併をしないで広域的にやればそれで済むではないかという議論もあります。が、市長という立場になって、この一年九ヶ月間、他の市町村長さんたちと或いは各々の議会の対応をみていますと、どうしても市町村のエゴが出てしまうんですね。三条の議員なら三条のため。燕の議員なら燕のため。というのが出て、地域全体のためというのがどうしても疎かになる。むしろ一部事務組合としてお互いに協力し合いながらやらなければ駄目な仕事のはずなのに仲違いするような形が非常に多いんです。例えば燕三条の総合グラウンドですが、人口割で見れば有利だとか、利用割でいけば不利だとかという問題が出てくる訳です。全体で掛かる費用は同じ訳です。それを三条と燕でどう負担するかという形がどうしても出てきて、むしろ仲良く協力してやらなければなら

ないものが、お互いに自己主張しあい、かえっておかしな方向にしている気がします。

ですから、例えば長岡のような大きな市であって、そういうことは全部市で処理出来ますよというなら別として、これは三条と燕がやった方が効率的だとか、これは三条と加茂と下田と栄町、或いは田上町とが良いという形で広域でやらなければならない地域ならば、広域でやるよりもその広域が一つの自治体になった方が、より有効に予算も使えるし、お互いのエゴの出し合いも少なくなり、私はやはり合併をすべきだと感じています。

それから先般、自治省の市町村合併推進室長という方がお出になって、——これは現在、公開寸前の形なんです、——県央は11市町村というのがあって、11市町村で広域的なことを勉強しているんですが、そこで合併を前提としないで、勉強をしようということで推進室長さんをお呼びして、講演を聞いたんですが、これは本当に合併をやらなければいけないんだなあと思ったことはですね、その高島さんという室長さんがこういう言い方をされたんですよ。“皆さん、戦後50年以上経過しながら、全く変らない仕組みというのは、今のこの自治体の仕組みですよ。農業にしても米を一粒も輸入しないと書いていたけれども、すでに輸入されています。金融機関でも思いもよらなかった倒産が起っています。新聞に何々信組がどうしたとか、こうしたとか出ていてもあまり驚かなくなったように仕組がドンドン変わっている。今の市町村の枠組や仕組みというのは、最後の護送船団方式なんですよ。そして、この護送船団方式も合併特例法の期限の平成17年3月までですよ”とっておられました。

そこで、“好むと好まざるとに係わらず、この護送船団方式というのバラバラになってしまう。また、そうしていかなければいけない。仕組みというのはそう何百年も続く訳がない。50年も経過したこの仕組みも変えていかなければいけない”ということを言われた時ですね、私は確かにそうだなと思いました。どうせ、その時にそういう形になるんだとすれば、早く一緒になって、私が冒頭に言いましたように特例法の期日の中でやれば恩典も受けられる訳ですよ。その時、どなたかが質問されて“平成17年3月前に合併を決めておいて、実際の合併がふた月や半年遅れたというくらいならいいでしょう”と言われた首長さんが居りましたが、室長さんは“それはありません。皆さんが合併というものをこれからスタートさせたとしても、本気でやれば2年くらいあれば出来るはずですよ。あと1年か1年半しかないとなれば別ですが、これから本当にその気持になってや

るのであれば充分やれる訳ですから、もう1回延長があるだろうというお考えを持っておられたとすれば、それは捨てて戴くべきだし、また、今の日本の経済の状況から言って、そういうことはもう考えられません”とハッキリ言われました。その話を聞いて、もう良い悪いの問題でなく、合併をするためにどういう形で進めていかなければいけないかということに頭を切り替えていかなければいけないんだなあ強く思いました。

この1月には合併協議会という形が両市に出来て、スンナリという訳にはいかないでしょうけれども、いろいろな紆余曲折はあるにしろ前進していけるんだと思っておった訳ですが、初夢の2つがすでに非常に難しい問題ということになってきています。

皆さんもそんなことをご理解戴きながら、市民の意識を喚起してというか盛り上げていって戴きたいと思います。そんなことを市長が言っていたぞとお話して戴ければと思います。

続いて、2番目のITの問題ですが……、仕事をしておられる社長さん方はよくご理解しておられると思いますが、私も今一生懸命勉強しています。森首相が“今度、これはこういう形でやるぞ”という、それにすぐ乗っていかないとうまくいかない面が行政にはあるんです。

私は市長を実際やってみて、なんでこの政策が年度末のギリギリになって、しかもいろいろなことをやるかやらないか一週間後に返事をせよみたいなものが結構多いんですよ。

ですから市民の人達にみんな相談して、こんな施設を作るのに、どういう風にしたら使い勝手が良いですか。と私は選挙の時にそういう風にしますと言ってきましたが、現実には本当に時間が無い中で、県から来るときにはもう1週間以内にやるか、やらないか返事をせよということで来るものですから——これは予算の都合もあるんでしょうが、結局のところ、やる、やらないとか。政府はどういう形で政策を作るかとか。政府はこんなことを考えているようだという情報を入手して、それに対応するという手もあるんでしょうけれど。——こんなことをやりたいから予算が無くてもアバウトの図面を引いて置くとか。計画というものをアバウトの計画でもいいから練って置くといったようなことが、非常に大切だということを感じています。そうでないと、例えばこの町の昔の老人の家を直しましたけれど、あれは10/10ということですから、国が全額くれる金で作ったんです。またトップ工業の跡地のところに、あの近くの人のためにということで予定しているのですが、そういうようなものが年度末のギリギリくらいに

なって、図面を合わせて出さなければならない形になるんですよ。そうすると、やろうと思っても図面が間に合いませんとかですね、問題が出てきて間に合わなければエントリー出来ないで駄目になってしまふ訳です。

今回私共が今年の10月頃を目途にして、三条の情報化をしようということで、去年から考えていたものですから、その下地があったもので、イントラネット事業に対して手を挙げて、事業計画もあるということで提出出来てやっているんですが、それすらこの1月12日までに計画を出せということなんですね。それが提出出来ないともうその事業には乗れないということになって3億3千万円程のお願いをしたんですけど、1億9千万円という内示がきて、それに向ってやっているということです。ですから、その担当者は正月もなく、2日から役所に出て来て仕事をしていますし、私も役所に行けなかったものですから、関係の3人を自宅に呼びまして、お年始のお客さんがお出になったら、そちらに出て、帰られたらまた打合せをする形で日曜日もなく、ずっとやっていますが、そのスピードが関心を持って見ていると情報はドッグイヤーということで——人間の1年が犬の7年だということですが——通常の1年があゝいったものは（IT）7年分、7倍のスピードで動いているという話をよく聞きましたけれど、7年なんていうものじゃなくて、10年くらい先だと思っていたものが、2～3年かな——2～3年かなと思っただけものが半年とか非常にスピードが……対応を早くしなければいけないんだと感じています。

今、私共が始めようとしているのは、1.5メガビットで10メガビットならば充分かなという形なんですけど、いろいろな方の話を聞いてみると、「市長！どのみちやるんだったら、三条は……というよりも新潟県は非常に遅れていて、言ってみれば三条は直さらなといえますか、何も書いていない画面に新しく描く訳だから、思い切って100メガビットにしたら」ということです。100メガビットということは動画がロボットが動く様子ではなく、自然の画面が出るような状態でお互いに交信出来るということです。これを一挙に引かないと、一旦1.5（メガビット）だ、10（メガビット）だとか引いて、それからまた100（メガビット）にしますよということ、例えば10メートル道路を作って、それから今度100メートル道路に直しますよと言っても周りに家が出来てしまった後で100メートル道路にすることになると立ち退いてもらったりで大変なお金が掛かるし時間もかかる。全く何も無いんだたら100メートル道路を作りますよと言っても、そんなに難しく無い。

しかし、非常に厳しい予算の中で、なんで100メートル道路が要るんだ。取り敢えず10メートルか15メートルもあればいいじゃないかという考えもある。そこに100メートル道路を作るとはどういうことなんだという議論が出てくる訳ですが、それは話し合いの中で、100メートル道路を作らなければ置いていかれますよ。もしうまくいって100メートル道路が出来れば、一挙に情報化に乗れますよという話を専門家の方達がしてくれているんですよ。

少し話は変わりますが、先般関市に刃物まつりを見に行ったんです。その時、あちらの総務部長さんが、食事をしながら話をしたんですが、「今、岐阜県では企業団地というのは土地の値段がいくらだというのはないんですよ。土地の値段が安いから企業が来るという時代は終わっています。岐阜県で団地を作ったら、今の情報インフラを張りめぐらしている。それでいくらかという形ですよ。それも行って見るともう一昔前のことになっており、もう情報インフラがあるのは当り前。最近ではヘリポートがあるとかいうような形になっていますよ」というような話をしておられました。私共の場合、幸いにして新幹線とか高速道路のインターチェンジが町の真ん中にありますし、三条にしても燕にしても10分か15分車で走れば行けるところにいろいろな施設がある訳ですから、ヘリポートなどは不要でしょうけれども、そういったような情報インフラを作ることによって、企業の誘致だとか、或いはいろいろなものがうまくいけば相当なインパクトで変わる可能性があるかなということ、国に対する予算は正式なキチットしたものは12日に出しますが、もう1回修正という形で、国も急がしているものですから、最初の一発目の計画で直せないということではなくて、——一発目のエントリーは12日まで出して下さい。しかし、もっと良い方向でやりますということで、変えるのは一向に差し支えありませんということなので、それに向って一生懸命取り組んでいるところであります。

それからもう一つ3月の議会にですね、三条の役所の仕組を変えてみようということで——教育委員会も入れると三条の部制は5つなんですけど——もう1つ市長公室というものを作ろうということで（政策的なものだとか。第4次で13年度から10年間の町づくり計画だとか。）進めている訳です。

私の政策に関すること。或いは従来の形でなく、あゝいうことをやろう。こういうことをやろうという、思っていることを、もうちょっとスピード

アップをして仕事出来るような仕組を作りたいということで、市長公室を新たに設けてですね、この次の臨時議会に提出して3月に、よりスピーディーにやっていきたいと考えております。1年9ヶ月間やってみて、役所というのは従来のことをやっていくには非常にキチットやるんですが——そんなに大きな変化じゃないとは思っているんですが——そういったようなことをチョットやって欲しいというと、なかなかそれが動かない。解りました。分りました。来年の4月新年度からやりましょうとかですね、例えて1例をとれば、循環バスが回っています。あの循環バスを土曜・日曜だけでも、例えば大崎山だとか保内公園などレジャー関連に入れて動かせないかと言うと仲々……

新年度から考えてみましょうという調子で、その程度のことでもそうですから、もうちょっと大きな仕事になると動きません。

今回昨年の暮れに、いわゆる人事評価をやるということの中でやったのもあればそういう厚生省から来ているキャリアの男に1人付けて、どうしてもこういった人事評価をやりたいから思い切って、いろいろなところを調べてそういったものを作って欲しいということでやらせたら3ヶ月くらいで出来上りました。それで更に進めて12月にやるつもりだったのですが、組合の方から評価はし

てもらい、そういう仕組は問題ないけれど、是非給料にハネ返らせるというのは、この12月は待つて欲しい。6月からは認めますから、12月から直ぐやるというのは待つてくれないかというものですから、何んでもかんでも強硬にやれば良いというものでもないですから、役所の人達とも、仲良くやっていかなければいけないものですから、「解った。それならやることはやるよ。いろいろな評価はしますよ。そして実際にそれを勤勉手当でいわゆる差を付けるというのは6月からにしましょう」ということでやったんですが……そういったものをプロジェクトみたいところで集中的にやりませんか、唯、人事というところで、こういうことをやりたいと言っているにもかかわらず動かないと言いますか、進まないと言いますか、そのような形なものですから、この市長公室は去年から作りたかったんですが、作らせられなかったと言うと変な言い方ですが、私の力不足で作れなかったんです。

13年度から新しい形のものを作って、皆さんからいろんなご意見だとかあれば、もっと役所の中をもっと少しスピーディーに変えられるようにやってゆきたいと考えております。

丁度真直ぐのところの時計があるものですから、時間の超過をしなくとも良いようです。どうもご清聴有りがとうございました。

例会案内

三条RC	2月7日例会	卓話	小越憲泰会員
	2月14日例会	新年会	於 ティファニー

メーカーアップをどうぞ

三条南RC	2月5日例会	通常例会
	2月12日例会	(祝)休会
三条北RC	2月6日例会	通常例会
	2月13日例会	会員卓話
加茂RC	2月8日例会	会員卓話
	2月15日例会	クラブ・フォーラム
燕RC	2月8日例会	会員卓話
	2月15日例会	会員卓話
見附RC	2月8日例会	会員卓話
	2月15日例会	クラブ・フォーラム

